

あいさつ



高梁市長

秋 岡 毅

新年あけましておめでとうございませう。

皆様方には、新たな夢と希望を抱かれ輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素から市政推進に格段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、「交流・創造都市たかはし」を都市像に掲げ、総合計画初年度として新たなまちづくりに踏み出したところでございます。

高梁らしさを基本に、少子化対策・子育て支援等の地域福祉施策、文化・教育の振興を図るとともに、生活基盤・都市基盤の整備、産業振興等の政策課題に全力で取り組んでまいりました。

ここ高梁は多くの文化的・歴史的遺産を今に伝えております。これら固有の財産を交流の引きがねとして、地域間交流はもとより観光などによる交流人口の増加を図り、市内で働く人や大学などに通う昼間人口とのさまざまな場面で交流の輪を大きくしていきます。こうした中で、新たな創造を呼び起こす機

会を積極的に増やし、文化、教育、農業をはじめとする産業の振興、福祉の充実など人口以上の都市の活力・活気をもったまことにしたいと考えております。

また、行財政改革につきましても、改革そのものが目的でなく特色あるまちづくりを行っていくための手段であるとの認識のもと、地域の一体性と財政基盤の強化のため引き続き取り組んでまいります。

さて、本年の干支は「亥」であります。亥の字は核と同字であり、次代への種・新しい生命をもっていることを表しております。

本年も高梁ならではの活発な交流と斬新・柔軟な創造で、次代への種をまき育て、夢と希望と活力に満ちたまちの実現を市民皆様とともに目指してまいります。

さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。平成19年が皆様にとりまして限らない幸せと健やかな年になることを祈念し、年頭のごあいさつといたします。

新年のご



高梁市議会議長
長原 寛

新年あけましておめでとうございませう。皆様には、ご家族お揃いで穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

振り返ってみますと、昨年は、殺伐とした事件・事故が多い年でありましたが、一方で、野球やスケートなど、スポーツ選手の活躍が目覚しく、私たちに夢と感動を与えてくれました。また、41年ぶりの親王、「悠仁」様が誕生され、国中が沸き立ちました。市民の皆様とともに、心からお祝いを申し上げる次第です。

さて、今国では、膨大な借金財政から抜け出すために、いわゆる「聖域なき構造改革」を強力に押し進めています。税金や医療、介護、年金をはじめとして、国民生活に直結しているだけに、私も議会も、重大な関心を持ってその行方を見るときにも、必要に応じて国に意見書を提出するなど、国に対する働きかけも行っているところではあります。

また、この改革に伴って、地方交付税や国庫補助金、負担金

も大幅に削減されます。このため、本市では、これを克服すべく、現在、大変厳しい行財政改革が進められており、来年度から本格的に実施されることになっていきます。

このような動きを受けて、私も議会では、昨年12月の定例会で、議員定数を4人削減し22人とすることを決定しました。

これは、本市の現状に鑑み、議会も襟を正し真正面から行財政改革に取り組んでいこうという気運の高まりから、議会改革の最も重要な課題のひとつとして、昨年2月来、議論を重ねていたものです。

市民の声が届きにくくなるという懸念の声もございますが、議員一同、これまで以上に皆様との対話を大切にし、本市の将来あるべき姿を求めて、議会活動にまい進してまいります。皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

今年一年、皆様にとって明るく、幸多い年となりますようお祈り申し上げます。